

2007年3月28日

第13回再処理・リサイクル部会 総会 議 事

1. 本年度部会賞贈呈式
2. 2006年度活動報告、主要行事紹介
3. 2007年度活動計画
4. 2006年度決算報告
5. 2007年度予算計画

第2回(平成18年度)日本原子力学会再処理・リサイクル部会賞 受賞者決定

部会賞選考結果

1. 功績賞 (1件)

燃料サイクル安全工学研究施設の安全管理並びに国際会議「Global2005」の成功
(独)日本原子力研究開発機構 土尻 滋

2. 業績賞 (1件)

金属電解法乾式再処理での酸化物燃料再処理方法の開発
(独)日本原子力研究開発機構 北脇 慎一、福嶋 峰夫
(財)電力中央研究所 宇佐見 剛、倉田 正輝

3. 優秀講演賞 (0件)

該当なし

1. 再処理・リサイクル部会賞 贈呈式

受賞者

1. 功績賞 (1件)

燃料サイクル安全工学研究施設の安全管理並びに国際会議「Global2005」の成功
(独)日本原子力研究開発機構 土尻 滋

2. 業績賞 (1件)

金属電解法乾式再処理での酸化物燃料再処理方法の開発
(独)日本原子力研究開発機構 北脇 慎一、福嶋 峰夫
(財)電力中央研究所 宇佐見 剛、倉田 正輝

3. 優秀講演賞 (0件)

該当なし

贈呈者

再処理・リサイクル部会長 田中 知

2. 2006年度活動報告

- | | |
|--------------|----------------------------|
| (1) 4月 1日 | 本年度運営委員、顧問、参与で活動開始 |
| (2) 4月21日 | 運営委員会(東大)・・・セミナー準備 |
| (3) 5月18日 | 第4回再処理リサイクルセミナー(東大) |
| (4) 6月14日 | 運営委員会(電中研)・・・本年度計画 |
| (5) 7月31日 | 運営委員会(電中研)・・・国際ワークショップ計画立案 |
| (6) 9月22日 | 運営委員会(電中研)・・・国際ワークショップ進捗確認 |
| (7) 9月28日 | 部会総会、企画セッション、運営委員会(北大) |
| (8) 11月10日 | 第2回部会表彰募集 |
| (9) 11月14日 | 運営委員会・・・国際ワークショップ準備 |
| (10) 12月8～9日 | 第3回国際ワークショップ(九大) |
| (11) 12月19日 | 拡大運営委員会・・・GLOBAL 2007 準備対応 |
| (12) 1月10日 | 拡大運営委員会・・・部会活動総括と今後の方針 |
| (13) 3月13日 | 2007年度部会運営委員選挙結果発表 |
| (14) 3月14日 | 第2回部会表彰選考結果発表 |
| (15) 3月28日 | 部会総会・表彰、企画セッション、運営委員会(名大) |

青字の活動については、次紙以降で概要を紹介します。

再処理・リサイクル部会第4回セミナーの報告

1. 日時、場所:平成18年5月18日(木)、東大・山上会館
2. テーマ:「これからの燃料サイクルシナリオと対応システム」
3. 概要

(1)原子力部会、FBRサイクルFSフェーズⅡ、国際原子力エネルギーパートナーシップ(GNEP)など、国内外の動きが活発化している状況で、今後の燃料サイクルのあり方を議論し確認した。

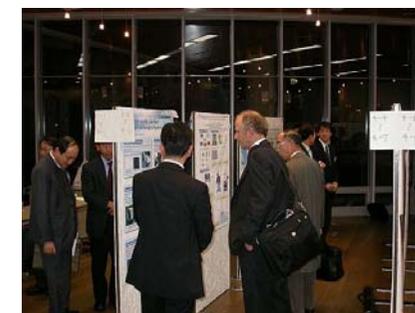
(2)111名の関係者が出席し、熱心な議論が展開された。FS、湿式/再処理、核種分離等に関するポスター発表も32件と盛況であり、成功裏に終了した。(部会ホームページに掲載)



第3回再処理・リサイクル部会国際ワークショップの報告

1. 開催日、場所：2006年12月8日(金)～9日(土)、九州大学・西新プラザ
2. テーマ：「急展開する原子力発電に伴う、使用済燃料の種々対応方法と研究開発」
3. 開催趣旨と概要：今後の世界、特にアジアの原子力発電は急速に進む可能性がある。この際、使用済燃料対応策（貯蔵、処分、減容、MAリサイクル等）を長期的視点から考え、社会の信頼を獲得し、関連技術と人材を確保する必要がある。各国共通の問題である。

ワークショップには国内から66名、海外から9名、計75名の参加があり、過去の経験、現在の状況、今後の計画を紹介しあい、相互理解を深めた。また、次世代の使用済燃料対応のあり方、安全性・核不拡散性の確保、着実な発展のための技術継承と人材育成、社会の信頼獲得など、これから直面する課題と学会、大学、諸機関の役割について議論した。（部会ホームページに速報を掲載）



2007年度部会運営委員

部会長:	田中 知	(東大)	
副部会長:	井上 正	(電中研)	
運営委員:	浅沼 徳子	(東海大)	会計
(青字:新委員)	天野 治	(電中研)	幹事
	有田 裕二	(名大)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広	(九大)	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	大場 一鋭	(三菱マテリアル)	企画(部会セミナー、国際WS)
	小泉 務	(原子力機構)	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	小山 真一	(原子力機構)	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	佐藤 修彰	(東北大)	広報(国際WS、学会企画セッション)
	鈴木 一雄	(東電)	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	中村 裕行	(日本原燃)	広報(六ヶ所情報、国際WS)
	西村 友宏	(電中研)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	日山 伸行	(原燃工)	広報(部会セミナー、国際WS)
	深澤 哲生	(日立)	庶務
	松村 達郎	(原子力機構)	庶務
	向原 進	(日本原燃)	企画(部会セミナー、国際WS)
	森 行秀	(三菱重工)	会計監査
	山田 和矢	(東芝)	広報(学会企画セッション、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)

参与: 野村茂雄、土尻滋、小山智造、峯尾英章、駒義和(以上原子力機構)、鈴木一弘(東電)、藤田玲子(東芝)、池田泰久(東工大)、松本史朗(埼玉大)、田辺哲朗(九大)、山名元(京大)、山村力(東北大)、波多野守(エネ総研)、大月淳(日立)、倉重有幸(原燃工)、白井理(京大)、半沢正利(三菱マテリアル)、藤田雄二、森田泰治(以上原子力機構) 青字:新参与

2007年春の年会（名大）
再処理・リサイクル部会企画セッション

1. テーマ 再処理・リサイクルの現状と将来展望
2. 開催日 平成19年3月28日（金）、13:00～14:30
3. 場所 H会場（本会場）
4. 座長 （電中研）井上 正
5. プログラム
 - （1）第二再処理に求められる要件について
（原子力機構）中村博文
 - （2）FBRサイクル実証プロセスへの円滑な移行について
（東大） 田中 知
 - （3）核燃料サイクルに関する海外情勢
（原子力機構）湊 和生

3. 2007年度活動計画

- | | |
|---------------|---|
| (1) 4月 | 運営委員会・・・本年度計画、セミナー準備 |
| (2) 5月 | 運営委員会・・・セミナー準備 |
| (3) 6月21, 22日 | 第5回再処理リサイクルセミナー(東京) |
| (4) 7月 or 8月 | GLOBAL国内委員会・・・具体的対応、直前準備 |
| (5) 9月9～13日 | GLOBAL2007(Boise, Idaho) |
| (6) 9月26～28日 | 運営委員会、部会総会、(企画セッション)、
現地企画セッションへの全面協力(北九州) |
| (7) 10月 | 部会表彰募集 |
| (8) 12月 or 1月 | 運営委員会・・・今後の計画 |
| (9) 3月 | 運営委員会、部会総会・表彰、企画セッション(阪大) |
| (10) 時期未定 | 第3回ぎんぎん技術セミナー |

4. 2006年度決算報告

	項 目	予算 (円)	実績 (円)	説 明
収入の部	部会収入	1,883,572	9,487,454	
	平成17年度繰越金	530,572	530,572	
	通常予算	238,000	6,345,777	
	平成18年度部会配付金	203,000	203,000	
	セミナーテキスト収入	0	3,500	
	その他収入	35,000	6,139,277	セミナー残金、GLOBAL2005余剰金
	セミナー	1,115,000	2,611,105	
	参加費	1,115,000	1,930,000	
	部会補助金収入	0	681,105	通常予算より支出
	その他収入	0	0	
支出の部	部会支出	1,316,000	3,521,864	
	通常予算	201,000	910,759	
	会議費	30,000	18,835	
	通信費	10,000	2,849	
	印刷費	0	10,000	
	講師謝金・旅費	100,000	136,970	
	会員管理費	61,000	61,000	
	会報印刷費	0	0	
	予備費	0	681,105	セミナー補助金(セミナー収入へ)
	セミナー	1,115,000	2,611,105	
	会場費	200,000	347,655	
	運営費	50,000	958,915	パネラー打ち合わせ費、懇親会費、アルバイト代
	講師謝金・旅費	250,000	502,060	
	印刷費	510,000	418,425	テキスト印刷
	雑費	105,000	384,050	弁当代等
収支	567,572	5,965,590	平成19年度へ繰越し	

5. 2007年度予算計画

項目	予算(円)	H18年度(円)	比較増減(円)	説明
部会収入	7,298,590	1,883,572	5,415,018	
平成18年度繰越金	5,965,590	530,572	5,435,018	
通常予算	218,000	238,000	▲20,000	
平成19年度部会配付金	203,000	203,000	0	
セミナーテキスト収入	0	0	0	
その他収入	15,000	35,000	▲20,000	セミナー残金
セミナー	1,115,000	1,115,000	0	
参加費	1,115,000	1,115,000	0	
部会補助金収入	0	0	0	
その他収入	0	0	0	
部会支出	1,296,000	1,316,000	▲20,000	
通常予算	181,000	201,000	▲20,000	
会議費	30,000	30,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
印刷費	0	0	0	
講師謝金・旅費	80,000	100,000	▲20,000	
会員管理費	61,000	61,000	0	
会報印刷費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
セミナー	1,115,000	1,115,000	0	
会場費	200,000	200,000	0	
運営費	250,000	50,000	200,000	アルバイト代、懇親会費
講師謝金・旅費	250,000	250,000	0	
印刷費	350,000	510,000	▲160,000	
雑費	65,000	105,000	▲40,000	
収支	6,002,590	567,572	5,435,018	